

たたらの子

館林市立第八小学校
学校だより 35号
R2. 11. 6 (金)

最後まで笑顔で気合いが入った運動会！

令和2年度第八小学校運動会が、10月31日（土）に行われました。新型コロナウイルス感染症対策で3部に分けて実施した運動会でしたが、子どもたちは、練習から、一人一人が一生懸命に取り組み、スローガンの「最後まで みんな笑顔で気合い入れ 自分自身の一等賞」にふさわしい力を発揮してくれました。団対抗では、「青団」が優勝、「赤団・黄団」が第2位という結果になりましたが、全校の子どもたちが最後まで気合を入れてがんばりました。特に6年生は係の仕事を一人一人が一生懸命に行い、下級生の立派なお手本になりました。子どもたちには、運動会が大成功に終わったことに自信をもって、今後も、学校生活で、やるべきことを最後までやり遂げるようになってほしいと願っております。保護者の皆様、子供たちへの温かい拍手をありがとうございました。



<ハンドクラップ（中学年）>



<紅蓮華（低学年）>



<エール交換（赤団）>



<エール交換（黄団）>



<エール交換（青団）>



<ドラムメジャー・カラーガード（6年）>



<ソーラン節（高学年）>

運動会閉会式 団長の感想発表



<青団団長 上林大駕さん >

最後の運動会で、優勝できたのはうれしかったです。優勝できたのは、みんなのおかげです。青団のみんな、ありがとうございました。



<赤団団長 川島直樹さん >

つなひきで協力したり、ソーラン節で団結したりしたときに自分は感動しました。みんなのおかげです。



<黄団団長 中西莉子さん >

2位だったのは、残念だったけど、6年生や先生方のおかげで、運動会ができる嬉しかったです。来年は5年生、がんばってください。

子どもたちの日記より<高齢者疑似体験>

<4年 田中功貴さん> ぼくは、車イス体験、高れい者ぎじ体験を体験して分かったことが、三つあります。一つ目は、車イスでだん差に上がる時や、おりる時がけっこうこわかったことです。上る時はけっこうかたむいて後ろにたおれないかこわくて、おりる時は声をかけてもらっても急にしんどうがくるので、とてもびっくりしました。二つ目は、ぎじ体験でおもりやブーツを着ようとする時に、体験したことがない重さでずっとネコゼになってしまいました。三つ目は、体験した中、一番こわかった階だんを上る時とおりる時です。上る時は、足が重くてころばないか心配で、おりる時はめがねみたいので、高く感じて転ばないかとてもこわかったです。体験して分かったことは、高れい者や足の不自由な方は、こんなに大変だと分かりました。

<4年 大越弘翔さん> ぼくは、車いす体験と高齢者体験を感じたことは、歩いてる時と、車いすのちがいです。歩いている時は坂やだん差、せまい道でも普通に登れるけれど、車いすの時は少しのだん差や坂、せまい道が自分でもなかなか登れなくて大変だなと思いました。高齢者体験では、高齢者の、目が見えづらくなったり、体が動かしづらくなったりの体験をしてきました。自分が想像しているよりも、お年よりは、普だんの生活がしづらくなるということを知る事ができました。そして町でお年よりや、車いすに乗っている人を見かけたら助けてあげたいと思いました。

<4年 ラフィルアイーシャさん> 私は、高れい者体験をしてから、なんだか自分が変われた気がします。私は下校中に、ある車いすを引いているおばあさんと会いました。おばあさんは何やらこまっているようでした。私は助けようかなと思ってはいましたが、きんちょう感がありどうしようと思っていましたけど、高れい者体験で書いたプリントのふり返りで、自分で、「むしせずに協力して助ける」と書いたことを思いだし、勇気を出し、「大丈夫ですか」と聞くことができました。おばあさんは、コンビニへの道がどこかまよっていたそうで、紙に書いて近くまで案内したら、笑顔で「ありがとう」と言ってくれました。そのあと、なんだかすごく心が軽くなったきがしました。高れい者体験でおしえてもらった先生達のおかげだと思っています。



子どものための5〇のルール！

【22 困っている友だちがいたら助けてあげよう】

忘れ物をしたり、急に体の調子が悪くなったりして困っている友だちがいたら、自分のできる範囲で助けてあげましょう。

友だちはきっと感謝してくれるはずです。そして、感謝されれば、自分も気持ちよくなれます。